



就職はゴールではない！ 入社した後の人生をどうするかが大事

「良い学校に入って、良い会社に就職しなさい」

……そんなふうに両親や先生から言われて、漠然と「良い会社に入りたい」と思っている人は多いのではないだろうか。

ここでいう「良い会社」とは、「誰もが知っている有名企業」のこと。「株式で一部上場している」とか、「従業員が1000人以上」とか、「テレビコマースシャルをしている」とか…… 人それぞれに一流企業のイメージがあると思います。

良い会社に入れば、高収入と、安定した暮らしが手に入ります。

福利厚生がしっかりしていて、キャリアとスキルが身に付き、社会的な信用

があり、異性にモテたり、素晴らしい結婚相手が見つかるかもしれません。

良い会社に就職すること、あるいは、公務員になることは、一番の親孝行かもしれません。

そんなイメージから、いつの間にか「良い会社に入ること」が目的になり、本来の目的を見失っている人がとても多いのです。

会社に入ってから定年を迎えるまで、働き続ける時間は約40年。想像しているよりもずっとずっと長い人生です。

社会人になれば、一日の3分の1は仕事、3分の1は睡眠、プライベートや趣味に費やす時間は3分の1以下。長い人生の大部分を占める「仕事」を選ぶということは、その後の人生を左右するとても大きな岐路なのです。

大切なのは、どこの会社に入るかではなく、会社に入ってどんな仕事をしたのか、どんな人生を送りたいのかということ。ネームバリューやイメージではなく、5年後、10年後の未来を描いて、自分にとっての一番の会社を選ばな